



NEWSLETTER

世界とつながる小野町



小野町の皆様、こんにちは！

地域おこし協力隊バンビです。
今回のニュースレターでは、多くの地元の方にはまだあまり知られていない国、ラオスについてご紹介します。

自然愛好者にとってラオスは最高の旅先です！

他の近隣国ほど知られていませんが、ラオスの穏やかでのどかな雰囲気には特別な魅力があります。



ラオスは東南アジアに位置し、中国、ベトナム、ミャンマー、タイ、カンボジアに囲まれています。面積は約23万6,800平方キロメートルで、日本の約3分の2にあたる広さですが、人口はおよそ700万人程度にとどまっています。

ラオスの領土の70%以上は山岳地帯や森林に覆われており、生活やインフラの整備に多くの困難をもたらしています。さらに、特にタイへの労働移住が進んでいることから、国内の人口増加率も鈍化しています。

しかし、だからこそ、それがラオスならではの大きな強みとなっています。人と自然が調和して共に生きる、手つかずの広大な自然が今なお残されているのです。

プーシー山

山頂から 古都ルアンパバーン
の夕日を一望

プーシー山への道には、たくさんの金色の仏像が木々の間に静かに立っています。

山の上には、ワット・チョムシーという金色のお寺があり、夕方になるとやわらかい光に照らされてキラキラと輝きます。



そこからはルアンパバーンの町が360度見渡せて、町全体がオレンジや紫の夕焼けにゆっくりと染まっていきます。とても静かで、まるで時間がゆっくり流れているように感じると言われています。今のように世の中がどんどん変わっていく時代に、こんなに静かな場所があるのは、少し不思議な気持ちになります。

ボーラウェン高原

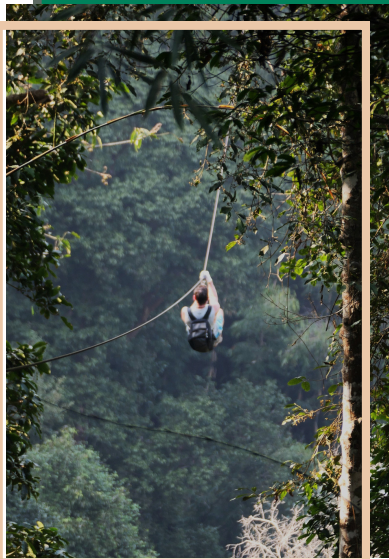
ラオス南部にあるボーラウェン高原は、自然が好きな人にぴったりの場所です。



ここには緑いっぱいの森が広がり、一年中涼しくて過ごしやすい気候です。タート・フェーンやタート・ユアンなど、大きくて迫力のある滝も見ることができます。

また、この高原はコーヒーやお茶の農園でも有名です。多くの農園では見学や体験ができるようになっていて、観光客に人気があります。こうした活動は、地元の人たちにとってもお店やブランドを知ってもらうチャンスになっています。自然の中でのサイクリングや田舎道のハイキングを楽しむに来る人もたくさんいます。そして、パークソーンの町から西へ11キロほど行くと、ドンファースオ国立保護区の一部になっている熱帯雨林があります。そこにはヒョウやゾウ、トラ、サル、そしてサイチョウという大きくなくちばしの珍しい鳥など、いろいろな動物が暮らしています。

ファイサーイ：森を飛び越える冒険



ファイサーイは、ラオス北部にあるタイとの国境に近い町です。

メコン川沿いにあるファイサーイの町は、森の中をジップラインで滑り降りるアクティビティで知られています。森を横断するジップラインを使って、観光客はまるでサルのように木々の間を飛び回るスリリングでワクワクする体験ができます。特に、このアクティビティはファイサーイの原生林保護のための資金集めにもなっていて、とても意義のある観光の方法です。

今回のNewsletterが、ラオスの自然に対する新しい視点をお届けできていたら嬉しいです。

まだ手つかずの自然が残るラオス——素朴だけれど、自然のままの美しさが広がる場所です。

次回は、ラオスの人々・文化・食べ物をご紹介します。

ゆったりとした時間の流れの中で、今も大切に受け継がれている伝統の魅力に、少し触れてみましょう。